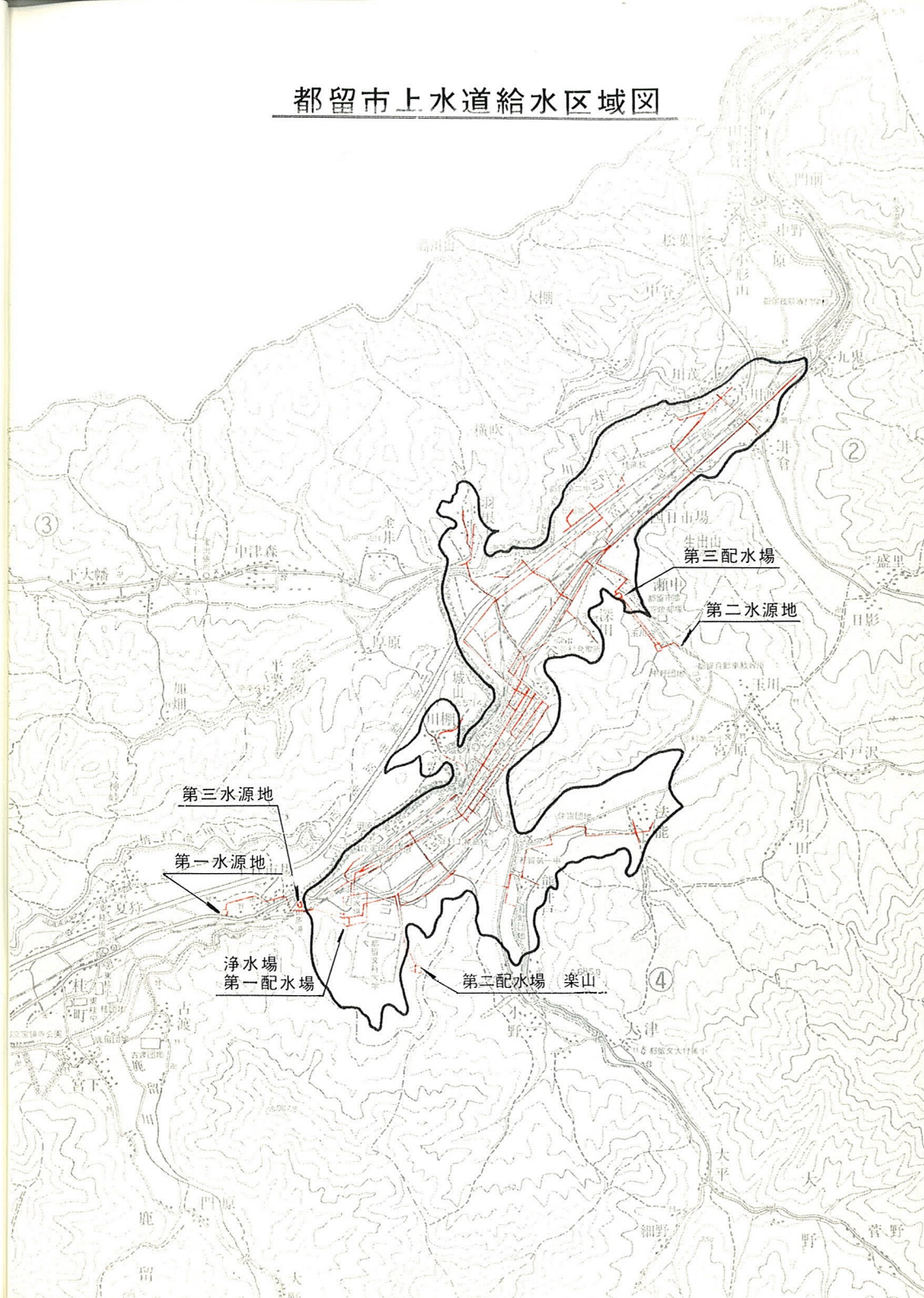
都留市上水道の歴史

明治８年	上谷村・下谷村を合併して谷村となる。
	川棚・薄原・平栗・加畑・大幡・金井・中津森村を合併して宝村となる。
	四日市場・古川渡・川茂・小形山・田野倉・井倉村を合併して禾生村となる。
	与縄・朝日馬場・朝日曽雌村を合併して盛里村となる。
	菅野・熊井戸・小野村を合併して開地村となる。
	法能・戸沢・玉川村を合併して三吉村となる。
	十日市場・夏狩・鹿留・境・上暮地村等を合併して桂村となる。
明治26年	桂村が東桂・西桂村に分村した。
明治29年	谷村町制を施行する。
明治37年	谷村町営上水道の計画はじまる。
大正10年	谷村町営上水道工事に着工する。
大正11年	谷村町営上水道完成する。
大正12年	谷村町営上水道給水を開始する。
昭和17年	三吉・開地両村が谷村町に合併する。
昭和29年	谷村町・東桂村・禾生村・宝村及び盛里村を合併して都留市となる。
昭和34年	上水道第一期拡張工事着工。
昭和36年	上水道第一期拡張工事完成。
昭和39年	上水道第二期拡張工事着工。
昭和41年	上水道第二期拡張工事完成。
昭和42年	上水道第三期拡張工事。 (禾生簡易水道を上水道に編入)
昭和43年	上水道事業を地方公営企業法適用。
昭和45年	上水道第四期拡張工事着工完成。

都留市上水道給水区域図